

【生徒の意見、提案など】	生徒からの質問	【市長の考えなど】	担当課
<p><b>【ずっと住みたくなる町】</b> 西尾市には、安城コロナのような、子どもからお年寄りまで、幅広い世代の方が楽しめる施設がありません。東部地区には、店もあまりありません。生活するのに不便を感じる人が多いです。娯楽施設も少なく、買い物にも不便を感じるような場所では、これから先の事を考えると、多くの方は、楽しくて、生活する上で便利な場所を求め、西尾市から移動してしまうのではないかと少し不安になります。このままでは、自分が住んでいる東部地区が淋しい場所になってしまう気がします。娯楽施設を作ったり、子どもからお年寄りが、地域で楽しめる講座を企画したり、車に乗らなければ買い物に行けない現状などから、日常生活が便利になるようなシステムを考えれば、今、住んでいる地域に愛着も沸き、ずっと住みたくなるのではないかと考えました。</p> <p><b>【提案1】</b> 映画館をつくることです。できれば、安城コロナのように、映画も見ることができ、家族で食事のできる店もあり、ボウリングや卓球などを楽しめる施設がよいと思います。家族や友達と楽しめる場所を作ってはどうでしょうか。</p>	<p><b>【質問1】</b> 市内に映画館やイオンなどの大型スーパーを誘致するような計画はありますか。また、西尾市が所有する土地の総面積はどれくらいですか。</p> <p><b>【質問2】</b> 「ずっと住みたくなる町」にするためには、私たちも含め、そこで暮らす人々が「自分たちの地域は、自分たちの手で」という意識を持ち、問題を解決する必要があります。「公民館を活用し講座の開催」についてお聞きします。講座を開催するためには、机や椅子などの備品を揃える必要がありますが、整備するために何か補助などありますか。</p> <p><b>【質問3】</b> 山村地域などでは、移動販売車がそこに住む人たちの生活を守っているという話をテレビで見たことはありますが、西尾市のような地域で、移動販売システムを取り入れているようなまちがあれば教えてください。もし、この移動販売システムを取り入れた場合、JA西三河農協と協力することも一つの案だと思いますが、この考えをどう思いますか。</p>	<p><b>【市長】</b> 映画館やイオンなど大型商業施設建設の計画はありません。市が所有する面積は、市役所や学校などの公共施設、山林、宅地など合わせると約3,834,470㎡です。大型スーパー等を誘致する話ですが、例えば、小島町に総合体育館がありますが、もし仮に廃止しますとなった場合、その場所がぽっかり空いてしまいます。西尾市が所有している土地が大きく空いた時に、スーパーを誘致しようという話にはあり得るかもしれませんが、市が所有している大きな土地は、現在ないので計画はありません。誘致するという活動自体は市ができませんが、実際に映画館やスーパーが西尾に来てくれるかどうかというところは、出店しても経営的にうまくいくかどうかというところで経営者が判断されると思います。映画館などを経営している企業が西尾市を見た時に、出店する魅力があるかどうか、経営的に成り立つのかという判断に最終的にはなります。東京や大阪、名古屋といったところは、人がたくさん集まる場所なので集客が見込めますが、人口密度が低い地域に出店しても経営的に厳しいと思います。出店したいという話があればもちろん前向きに考えたいと思っています。イオンなどが出店すると喜ぶ市民は多いと思いますが、地元の商店街などは小規模で経営しており、品ぞろえや価格からお客を奪われてしまいます。商店街の人々の生活はどうなるでしょうか。行政は、そのような事も考えなければいけません。大型店舗ができる事で、喜ぶ人がいる一方、明日の生活がどうなってしまうかわからないという人々もいるという難しい問題もあるので、理解してほしいと思います。</p>	<p>企画政策課 地域支援協働課 生涯学習課</p>

【生徒の意見、提案など】	生徒からの質問	【市長の考えなど】	担当課
<p>【提案2】 気軽に楽しめ、学べる各種講座を地域で企画し、開催してはどうでしょう。現在、地域の公民館はあまり使われていないと思うので、例えば、公民館を活用し、料理教室や習字、囲碁、将棋など、地域の人が講師となれるような講座を開けば、子どもたちも、お年寄りも歩いて出かけることができ、幅広い世代の地域の人たちが交流できる場所となります。また、東部地区には、地域の高齢者の皆さんが先生役となり、昔ながらの暮らしの知恵や伝統料理などを若い人たちに教え、伝えていくことも良いことだと思います。</p> <p>【提案3】 大型トラックを使い、移動販売所をつくることです。1台のトラックに、肉や魚、野菜、果物、お菓子などを積み込むのではなく、1台で肉だけ、1台で魚だけ、1台で野菜だけというように、販売する食材を限定し、時間毎また日替わりで訪れるような移動販売はどうでしょう。販売場所は、地域の公民館駐車場を活用すれば、利用頻度も高まり、地域の人たちの交流の場にもなります。高齢者の中には、移動販売が行われているところまで歩くことも無理な人もいますので、IT企業などと連携し、ドローンなどを活用する移動販売はどうでしょう。新しい取り組みなので注目度も高く、経済効果もあると思います。</p>		<p>【市長】 三和や室場など各ふれあいセンターでは、各種講座を開催しています。子どもたちが楽しめる講座は少ないですが、主に大人の女性がサークル活動などを行っています。団体の皆さんからこんな講座がやって欲しいなど要望があれば前向きに考えていきたいと思うので、ご意見をお寄せください。ふれあいセンターは市の建物で、講座の開設や参加者の募集は市が行っています。各町内にある公民館は、基本的に各町内会が保有管理しているので、そこに住んでいる人たちが、地域の人に楽しんでもらえるような事を考えていただくと、その地域は元気になると思います。備品や公民館建設に対する補助については、宝くじの売り上げ収益金を活用した補助があるので、各町内会から応募していただけます。西尾市独自の補助金制度は今のところありません。 JA西三河と一緒にやることができると面白い取り組みだと思います。高齢の方が増え、自動車での移動が困難になった時などに、野菜や魚などを販売する車が巡回してくれるのもひとつの方法だと思います。高齢者の皆さんに、市内の店舗に出てきてもらえるように仕向ける（方法）もいいと思います。西尾市よりも過疎な地域、例えばコンビニなど店が全く無い地域については移動販売というものは大切な手段だと思います。西尾市で全くお店や病院が無い地域はないと思います。校区にひとつぐらいはスーパーがあると思います。そうになると、くるりんバスなど公共交通機関を充実させて、利用していただけるようにしたいと思います。 また、ドローンは、とても面白い発想だと思います。今後の参考にします。</p>	<p>企画政策課 地域支援協働課 生涯学習課</p>